

# 新事業と今後の展開

## 坂田氏ら3人が発表

豊橋で新事業  
豊創 橋出 研究会



サイエンス・クリエイト(豊橋市西幸町、後藤圭司社長)は12日、同町の豊橋サイエンスコアで、今年度の第8回「新事業創出研究会」を開いた。住宅機器、家庭用品の

製造・販売など手がけるハマネットテクニカルセンター、田訓章氏、肥料製造販売など展開する「環境テクシス」の高橋慶社長、就業支援・教育事業など手がける「トライアングル・トラス」の神藤祐子取締役がそれぞれ新事業を発表した。

この中で、環境テクシスの高橋社長は「食品リサイクルの取り組み食品廃棄物から高品質な堆肥製造」のテーマで報告した。高橋社長は製造した肥料の特色として、利用用途が少ない産業廃棄物から高付加価値な有機肥料を製造▽即効性と土壌改良性がある▽窒素分が多いため葉菜などに向いている▽適度な水分量で取り扱いが良好▽臭いが少ない―などと紹介。肥料品質のさらなる改善や飼料化の推進を今後の方針にして肥料化プラントの移転拡大など、将来の展開を説明した。

(武田康弘)